

雑草…自然に生えるいろいろな草。また、農耕地で目的の栽培植物以外に生える草。たくましい生命力のたとえに使うことがある。（広辞苑）

雑草の役割

1. 害虫などによる作物への被害が少なくなる

・ 背の低い柔らかい雑草から食べていく。きれいに除草されて雑草が無いと作物を食べる

2. 土壌改良

・ イネ科の雑草は堅い土の深くまで根を張り、耕してくれる

・ 酸性の土を中和してくれる

・ 空気中から窒素を取り込む ※窒素―タンパク質の元。アミノ酸の原料。光合成に必要な葉

緑素を作る。

・ ツル草などは地表を覆って乾燥を防ぐ

↓その土地が必要としている植物（雑草）が生えている

土が良くなればまた違う植物が生えてくる。いずれ森になる。

雑草にもそれぞれ役割があり、存在自体が尊い。

人間の価値観によって邪魔者にされている。

人間同士でも同じ。自分の価値観で他人を判断している。

自分と他人を分けてしまう。分別。自分があることで自分に固執してしまう。執着。自分中心。

同事

「同事というは不違なり」

自分も他人も無い。同じ。皆一つ。

車椅子に乗って見たとき

・ 目線が低くなるのでスピード感が違う。

・ 思い通りに操作することが思った以上に大変。

・ 小さな段差でも乗り越えることが難しい。

相手の立場になって考えることも大切だが、相手と同じことをしてみてもわかることがある。相手と同じになるなら、相手を自分だと思って接する。自分がしてもらいたいことをする。相手に寄り添い、同じ想いであるなら思いやりをもって接することができる。